



「ぼくの西大路小学校」

西大路小学校 六年 仲上 倫己



ぼく達の通っている西大路小学校は、全校児童六十五人分のすごく少人数の学校です。その分、全校全員の名前を覚えていきます。そして、全員が仲良しです。実は、ぼくは人の前で話をしたり、積極的に何かを

するということが苦手です。出来ることなら、やりたくない・・・というのが正直な気持ちです。そんなぼくが、今、色別執行委員という児童会の中心的役割を果たすところで活動しています。色別執行委員になったのも積極的にやりたかったからというのではなく、半分仕方なしという形でした。でも今は、毎月の生活目標を話し合っって決め、集会や行事の時には、発表や司会をがんばっています。

ぼくは、西大路小学校が他の学校とちがうところは何だろうと考えてみました。

まず、行事などでは、十一月十日の全校綿向山登山があります。高学年は低学年の面どうを見ながら、はげまし合っって登ります。

二つ目に、今年度から始めた「十分間運動」です。中休みの時間になると、全校のみんなが運動場や体育館で運動に取り組みます。ボール投

げやボーテックス、サーキットトレーニングに走る運動。毎日続けることで、自分たちの体力がもつと上がっていくと楽しく取り組んでいます。

三つ目には「学習フェスタ」があります。各学年で発表したいことを決めて、調べたり、作ったり、まとめたりして、友だちや家の人、地域の人たちに発表しています。幼稚園の人たちに発表しています。幼稚園の人たちもお店を出してくれていっしょにしています。

ぼく達の学年では、去年はフローティングスクールでの体験をもとに、琵琶湖や水、環境のことについて発表しました。今年は、社会科や理科で勉強したことに関わらせて、日本の中の世界遺産について発表しようとして計画しています。とても勉強になる楽しい学習フェスタです。

次に、何年も連続でNHK音楽コンクールにみんなが出場していることです。

今年も、ぼく達六年生が学級で出場するかどうかを話し合い、五年生と四年生にいっしょに出場しようと呼びかけました。今年は「フリー部門」にできました。夏休み中も水泳の始まるまでの朝の時間に、毎日がんばって練習しました。結果は「優良賞」でしたが、みんなで心を一つにして歌声をつくり上げたことはとてもいい経験になりました。これからも続けていってほしいとぼくは思っています。

他にも、全校のみんなが色別に分かれて運動場の草ひきを競争する「草

ひき大会」も他の学校にはないと思います。どの色もみんなすごくがんばりたくさんの草がぬかれます。

では、行事以外でいいところは何でしょうか。まず思い浮かぶのが、誰でもきちんと挨拶ができることです。毎朝学校に来たら校長先生が校門のところで待っていてくださって、みんなにあいさつをしてくださいます。

みんなも「おはようございます。」とあいさつします。当たり前なあいさつが、きちんと出来るのはとても大切でいいことだと思います。

運動会はみんなの力がいっぱい発揮されます。色別でのリレーやつなひき、応援合戦。人数は少ないですが、その分一人ひとりが自分の力を出し切り、協力し合わないと成功しません。今年はぼくにとって小学校最後の運動会でしたが、「パワー全開！声だせ、汗だせ、力だせ」のスロ―ガン通り、みんなが一生けん命がんばって楽しい運動会ができました。「西大路小は人数少ないあ。」とよく言われます。でも少ないからこそみんなが仲良くなるし、一人ひとりが力を出したり協力したりすることの大切さを強く感じます。

ぼくも、残りの時間、色別執行委員として、がんばって人の前に出てその役割と責任を果たそうと思います。

